

第10回軍縮・不拡散イニシアティブ(NPDI)外相会合
外相共同声明 和文仮訳
～2020年NPT運用検討会議に向けて～

1. 我々、軍縮・不拡散イニシアティブ(NPDI)(豪州、カナダ、チリ、ドイツ、日本、メキシコ、オランダ、ナイジェリア、フィリピン、ポーランド、トルコ及びアラブ首長国連邦)の外務大臣は、核兵器不拡散条約(NPT)という画期的な条約の発効50周年及びNPDI設立10周年を迎える2020年のNPT運用検討会議の意義ある成果に貢献するあり得べき方途を評価するため、本日、名古屋に集まった。我々はまた、核軍縮・不拡散体制の礎石であるNPTへの支持という政治的決意を再確認するためにも、ここに集まった。
2. 我々は、発効後50年間のNPTの重要な成果を認識する。NPTは、核拡散の抑制において有用であり続けている。NPTは、核軍縮に必要な不可欠な枠組みを提供してきた。NPTは、平和的目的のための原子力技術にアクセスする締約国の権利を保障してきた。
3. 現在の国際的な安全保障環境は、不確実性と緊張関係に満ちている。核兵器に関して増大しているリスクに鑑みれば、全てのNPT締約国がNPT上の義務を履行し、1995年、2000年及び2010年の運用検討会議で合意したコミットメントを実施することは不可欠である。2020年のNPT運用検討会議に向けて、NPDIは、核戦力の一層の透明性、包括的核実験禁止条約(CTBT)の発効、及び核兵器用核分裂性物質生産禁止条約(FMCT)の早期交渉開始についての進展を達成するための措置を強く支持し続ける。NPDIは、核軍縮検証、核リスク低減、原子力安全・核セキュリティ・保障措置、及び原子力の平和的利用へのアクセスを向上させ、また、NPT運用検討プロセスを強化するための具体的な措置を推進する。2020年のNPT運用検討会議は、締約国が結集して、NPT体制の強化という共通の利益を構築する時である。
4. NPDIは、意義あるNPT運用検討会議に向けて、一連の具体的な提案を提出する。特に、NPDIは、NPT締約国、とりわけ核兵器国による包括的で定期的な国別報告書の提出を強く求める。これらの国別報告書に基づいた有意義な対話を促進する我々の努力は、既に透明性を向上させてきており、我々は、この重要な取組を継続していく。NPDIはまた、NPTの履行の強化のためのNPT運用検討プロセスの実効性及び効率性を向上させ、課題及び危機により適切に対応し、透明性及び説明責任を最大化するような方途を提案する。我々は、全てのNPT締約国に対し、これらの重要な提案を支持するよう求める。
5. 我々は、核兵器廃絶の達成のために、2010年のNPT最終文書及び同行動計画に含まれている核兵器国の明確な約束への支持を再確認する。
6. 我々は、国連安保理決議に従った、北朝鮮の全ての大量破壊兵器、あらゆる射程の弾道ミサイル並びに関連計画及び施設の、完全な、検証可能な、かつ不可逆的な廃棄という国際社会の目標へのコミットメントを再確認する。我々は、国際社会の全てのメンバーに対して、関連する国連安保理決議を完全に履行することを求める。我々は、新戦略兵器削減条約(新START)の重要性を認識し、戦略的安定性に資する取決めの延長に係る核兵器国間の対話を奨励する。

7. NPTは、引き続き、軍縮・不拡散教育を主導し続ける。我々は、人々が核兵器のない世界を獲得し維持できるような批判的思考、技術及び知識を向上することが不可欠であることを再確認する。我々は、全ての国々に対し、この点に関する経験やベストプラクティスを共有するためにNPT運用検討プロセスを活用することを求める。我々はまた、核兵器の使用がもたらす破滅的で非人道的な結末に対する深い憂慮により、核兵器のない世界に向けて努力する必要性が想起され続けることを強調する。この点に関し、我々は、広島及び長崎を含む、核兵器の被害を受けた地域社会への訪問や交流を歓迎する。
8. NPTは、引き続き橋渡し役を務める。我々は、全ての地域及び政治的グループの核兵器国及び非核兵器国への実質的なアウトリーチを深化させる。我々は、NPTの実施を強化するために必要な継続的でハイレベルの政治的リーダーシップ及び外交上の対話を促進することにコミットし続ける。本日、我々は、過去50年間の進展を支持し、核兵器のない世界というNPTの究極の目標を達成するための新たな政治的コミットメントを宣言する。